

Think

寺井まちなかの未来を考える ワークショップ ～総括～

背景・目的

能美横断道路、寺井保育園の整備を契機とし、住民主体の永続的なまちづくりを推進するため、これまで地域のまちづくりに携わってきた住民の方々を中心とするワークショップにより、寺井まちなかのまちづくりの将来像について検討した。

1. ワークショップの概要

開催日時：	第1回 … 3月10日（日）	第2回 … 6月29日（土）
	第3回 … 7月28日（日）	第4回 … 8月25日（日）
参加者：	町内会、商工会、商店連盟、公民館、九谷焼、JAIST 横断道路沿線、まちづくり団体、子育てなどの各関係者	延べ101名 (平均25人)
手法：	ワークショップ形式による班別討論	
コーディネーター：	濱 博一氏 株式会社アスリック代表取締役 (石川県地域づくり協会専任コーディネータ)	

2. 各ワークショップの概要

第1回 ・「まちなかの魅力と悩み」、「まちなかでやってみたいこと」についての意見交換

第2回 ・参加者が考える「理想の寺井まちなかのイメージ」の意見出し
・「理想の寺井まちなかを実現するために必要なまちづくり」を提案

第3回 ・提案したまちづくりの「事業の優先順位」を整理
・「事業の必要性（どういった利用方法ができるか。）」を検討

第4回 ・まちづくりの「キャッチフレーズ」の組み立て
・事業に対する「行政・企業・住民の役割分担」を整理



討論風景



グループ討論



グループ発表

3. ワークショップの検討結果

〈キャッチフレーズ案〉

“てらかつ”で見つけよう！！
～ 九谷焼と話せる充実のまち寺井 ～

〈まちづくりのビジョン(方向性)〉

ビジョン1	子育て環境の充実と安心して歩ける環境づくり
ビジョン2	九谷焼を活用した魅力向上と情報発信
ビジョン3	まちなかの賑わい創出と交流活性化

〈9（ナイン） ～まちづくりを実現する9つの提案～ 〉

①	子育て環境づくり ▶ 保育園・ふれあいプラザ周辺の環境	②	安心して歩ける空間づくり ▶ 子供や高齢者にやさしい歩行空間
③	世代を超えた「やすらぎの場」 ▶ 「かたかご広場」のリフレッシュ	④	九谷焼で彩る「てらい」 ▶ イベント開催、各戸ギャラリー、イベントショップと連携
⑤	「まちなかの宝」の発掘 ▶ 「梅月庵」の復活(ギャラリー+カフェ)	⑥	商いの再生 ▶ 空店舗の利活用(ワーク・イン・レジデンス)
⑦	核となる「にぎわいの創出」 ▶ 図書館の利活用	⑧	みんなが集う「まちなかの駅」 ▶ 多目的ホールを中心とした集い、情報発信
⑨	健康・ふれあい回遊ルートの設定 ▶ 「ぐるっとカフェ」開催、「ルートマップ」	“ 9（ナイン） ⇒ 九谷 ”	

4. 今後の予定

- 住民主体の「(仮称)まちづくり協議会」の設立を目指す。
- ワークショップでの提案を基本とし、都市再生整備計画を策定する。
- 平成26年度からまちづくり事業をスタートする。

● 寺井町の未来のまちづくりコンセプト

“てらかつ” でみつけよう!!
 ~ 九谷焼と話せる充実のまち 寺井 ~

交流の場づくり

- ⑥ 空家・空店舗の利活用《ワークインレジデンスの推進》
 ・チャレンジショップとの連携
- ⑤ 梅月庵の再生（カフェやギャラリー）
 ・市民の日常の集いの場としての活用
 → 囲碁、将棋、料理教室、子供の習い事、生花、お茶

▼ 対象とする主な場所



安心して歩ける空間づくり
 ⑨ 健康・ふれあい回遊ルート”の設定

- ② 子どもや高齢者にやさしい歩行空間
健康増進・ふれあいの場
- ④ 九谷焼の風情を感じられる場

ぐるっとカフェ 茶碗祭りなどイベントの開催 歩行者空間の確保

～まちの駅～ ふれあいの場づくり

⑧ 多目的ホールを核とした地元の人のふれあいの場
 子供・若者・高齢者が集まり、まちなかの情報を発信する場
 → 趣味の会合・移動式店舗

子育て環境づくり

① 寺井保育園・ふれあいプラザ周辺の環境
 安心して歩ける空間《ゾーン 30》

にぎわいの場づくり

⑦ 図書館の利活用

地元重視 … 趣味の発表の場所としての活用
 → 落語、お茶、展示会

ターゲット … 地元の人が集まれる場としての活用
 → フリーマーケット、カフェ、ミニアグリ・市場

地元+観光 … イベント開催の場としての活用
 → 夏まつり・ミニ九谷焼・茶碗まつり

地区南側からのアプローチ